令和７年　５月吉日

各　中　学　校　長　殿
クラブチーム責任者　殿

青森市サッカー協会
会　長　　里村　英博
（公印省略）

令和７年度　『ＡＦＡ会長杯争奪第３７回青森市夏季中学生サッカー選手権大会』
兼　青森サマーサッカーフェスティバル交流大会２０２５（U-15）
兼　青森市サッカーリーグ２０２５（U-14）　案内

１　主　　催　青森市サッカー協会

２　後　　援　東青中学校体育連盟

３　主　　管　青森市サッカー協会　　三種委員会
　　東青中学校体育連盟　サッカー競技部会

４　協　　賛　青森教材社　青森菅公学生服株式会社　つつみカメラ　オフセット印刷株式会社
　　東奥学園高等学校　Hotto Motto　(株)ラインメール青森FC　タケダスポーツ

５　期　　日　令和７年　６月２８日(土)・８月３０日(土)・３１日(日)サマーフェスティバル
　　７月１２日（土）・２６日（土）予選リーグ
　　８月　２日（土）・３日（日）　決勝トーナメント
　　令和７年　８月２３日（土）～１０月２５日（土）青森市サッカーリーグ
　　※原則土曜日開催とする。※会長杯の結果で組み合わせを決定する。

６　会　　場　オカでんアリーナ多目的広場（天然芝）
　　大進建設スポーツ広場サッカー場（天然芝）・多目的グラウンド（人工芝）
　　青森中央学院大学サッカー場（人工芝）・青森市立三内中学校グラウンド（天然土）

７　参加資格
（１）日本サッカー協会及び青森市サッカー協会に第３種又は女子登録する加盟チームであり、登録する選手であること。
（２）出場選手は中学校１・２年生であること。（６月サマーフェスティバルは３年生も可）中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、（財）日本サッカー協会の女子加盟チーム登録選手を移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合は除く。合同チームで参加する場合は、大会本部に申し出ること。青森市サッカーリーグについては、東北・県リーグに参戦している選手は出場できない。但し、登録している選手で出場機会（０分）がない選手と１年生は出場することができる。チーム事情により、出場機会が少ない選手に関しても出場することを認める。（要相談）
（３）同一チームから複数チームの参加を認める。２チーム目以降の名称は２nd、３rd とし、選手の移動は認めない。（要相談）

（４）傷害保険等に加入し、帯同審判に協力できるチームであること。

８　大会役員　名誉大会長　　高橋　弘一（青森市サッカー協会名誉会長）
　　大 会 長　　里村　英博（青森市サッカー協会会長）
　　大会顧問　　高橋　修一（青森市サッカー協会顧問）
　　八戸　　弘（青森市サッカー協会顧問）
　　松尾　敬司（青森市サッカー協会顧問）
　　大会委員　　千葉　洋一（青森市サッカー協会副会長）
　　竹中　晋也（青森市サッカー協会副会長）
　　大澤　裕造（青森市サッカー協会副会長）
　　阿保　秀三（青森市サッカー協会副会長）
　　中田　純司（青森市サッカー協会副会長）
　　村上　祐治（青森市サッカー協会理事長）
　　高橋　秀太（青森市サッカー協会副理事長）
　　榊　　征也（青森市サッカー協会副理事長）
　　真田　龍一（青森市サッカー協会技術委員長）
　　三浦　恭祐（青森市サッカー協会三種技術委員長）

９　競技役員　実行委員長　　赤平　和仁（青森市サッカー協会三種委員長）
　　副実行委員長　　菅原　　修（青森市中体連サッカー競技委員長）
　　大澤裕一郎（青森市三種委員会クラブユース委員長）
　　実行委員　　大会参加チーム責任者
　　補助員　　大会参加チーム員
　　審判長　　阿保浩四郎（青森市サッカー協会審判委員長）
　　副審判長　　杉本　　大（三種委員会審判委員長）
　　審判員　　青森市サッカー協会登録審判員
　　大会参加チーム帯同審判員（有資格者）
　　規律委員長　　赤平　和仁（青森市サッカー協会三種委員長）
　　規律委員　　菅原　　修、大澤裕一郎、杉本　　大、三浦　恭祐

10　競技方法
（１）会長杯は予選リーグ及びトーナメント方式、U14 育成リーグはリーグ戦とする。
（２）会長杯の組み合わせは、県・東北リーグ出場チームなどを考慮し、抽選により決定する。
　　また、会長杯の結果、会場、審判などを考慮して U-14 育成リーグをグループ分けする。
（３）試合時間は、会長杯は５０分（２５－５－２５）、育成リーグは６０分（３０－５－３０）とする。トーナメントで同点の場合は、準決勝まではＰＫ戦とし、決勝は１０分間の延長を行い、なお決しない場合はＰＫ戦とする。
※熱中症対策ガイドラインより、競技時間の短縮やハーフタイム時間を延長することもある。
（４）予選リーグにおける順位決定は、
　①勝ち点（勝ち３、分け１、負け０）②当該チームの対戦成績（勝敗）
　③得失点差④総得点⑤抽選の順で決定する。
※各種感染症や自然災害などの影響により、リーグ戦をすべて消化できなかった場合は、勝ち点平均を考慮して順位を決定する。

11　競技規則

（１）ルールは現日本サッカー協会制定のサッカー競技規則に準ずる。

（２）ユニフォームは正と副、異なる色のものを参加申込み用紙に記載し、各試合に必ず携行することとする。(FP・GK とも）ユニフォームの色彩が類似し判別しがたいときは、両チーム立ち会いのもと、いずれのチームかがビブス等を着用することを決定する。また、アンダーシャツ及びアンダーショーツの色は問わない。ただし、原則チーム内で同色のものを着用する。ソックスに貼るものや外部に着用するものはソックスと同色でなくてもよい。

（３）大会参加申込みした選手のうち、各試合の登録選手は最大３０名の中から自由に交代することができる。(大会申込み選手の人数については、特に上限はない)

（４）本大会において退場を命じられた選手は次の試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律委員で決定する。(ヒアリング、県規律裁定委員会に提出)

（５）本大会期間中、警告を２回受けた選手は次の１試合に出場できない。(予選リーグのものは決勝トーナメントに持ち越される)

12　表　　彰　　優勝チームには優勝杯及び賞状を授与する。準優勝・第３位、Satellite トーナメント第１位に賞状を授与する。(市リーグについても同様に表彰する。)

13　参加料　　１５，０００円　（２０２５年７月１２日までに沖館中学校赤平まで直接提出してください。）

14　申し込み　青森市サッカー協会三種委員長　赤平和仁まで、メールで送信してください。

メール　　okidatechu@aomoricity.ed.jp

携 帯　　０９０－４４７６－３６１９

締め切り　２０２５年　６月２０日（金）

※打ち合わせ・抽選日

２０２５年　６月２１日（土）

大進建設スポーツ広場　１２：３０～１３：００

15　その他

（１）試合球は５号公認手縫いボールとし、大会本部で準備する。

（２）ベンチは本部からピッチに向かって左側を対戦表で対戦する左側のチームが使用すること。なお、使用者は監督・選手・コーチ・マネージャーに限定する。(上限５名)

（３）参加・出場選手は生活のルールとマナーを守り、フェアな態度で大会に臨むこと。これに反すると思われるものは規律委員で協議し、処置を決める。

（４）ピッチ内アップは、試合開始３０分前からの１５分間とする。(終了時間・天候による)

（５）弁当・飲み物は大会本部で用意します。(リーグ戦に関しては予算・時間帯による)

（６）メンバー表は持参し、スターティングメンバーに〇を付けて７０分前には提出すること。

（７）開催期間中、競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損、けがや病気（感染症）等については、大会運営者やチーム関係者、施設管理者に一切責任を負わせない。自己責任であることを理解した上で参加するものとする。

※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や落雷等、天候の影響で起こった場合も含む。

（８）本大会の上位チームは第８回タケダスポーツ杯への参加資格を得るものとする。

（９）大会要項に記載されていない事項については三種委員会で協議の上、決定する。

16　組み合わせ

〇１６チームの場合：４チーム×４ブロックの予選リーグ＋決勝トーナメント　　（　８）
Satellite（3・4位）トーナメント（　８）

〇１５チームの場合：３チーム×５ブロックの予選リーグ＋決勝トーナメント（１０）
Satellite（３位）トーナメント（　５）

〇１４チームの場合：４チーム×２ブロックの予選リーグ＋決勝トーナメント（１０）
３チーム×２ブロック　Satellite（3・4位）トーナメント（　４）

〇１３チームの場合：４チーム×１ブロック　の予選リーグ＋決勝トーナメント（９）
３チーム×３ブロック　Satellite トーナメント（４）

〇１２チームの場合：３チーム×４ブロックの予選リーグ＋決勝トーナメント（８）
Satellite トーナメント（４）

〇１１チームの場合：４チーム×２ブロック　の予選リーグ＋決勝トーナメント（７）
３チーム×１ブロック　Satellite トーナメント（４）

〇１０チームの場合：３チーム×２ブロック　の予選リーグ＋決勝トーナメント（６）
４チーム×１ブロック　Satellite トーナメント（４）

〇　９チームの場合：３チーム×３ブロックの予選リーグ＋決勝トーナメント（６）
Satellite リーグ（３）

〇　８チームの場合：４チーム×２ブロックの予選リーグ＋決勝リーグ、Satellite リーグ

〇　７チーム以下の場合：他地区から参加チームを募り、チーム数を確保する。

☆人数の多いチーム（２０人以上？）の試合への出場機会のない選手のいるチーム同士、あるいは人数の足りないチームとの合同チームでのオープン参加を認めるものとする。

（監督会議で協議する。）≪令和元年度からの検討事項≫